

# 豊寿園

FRUITFUL TREE

# 豊かな樹

Winter 2018

Vol. 37

JAPANESE RED CROSS

SOCIETY FUKUOKA

PREFECTURAL CHAPTER

THE SPECIAL NURSING HOME

HOUJYUEN

SPECIAL SECTION

TOPICS

MORE CROSS

AREA INFORMATION

CARE MEMO

WE ARE VOLUNTEER

HOUJYUEN×FAMILY

HOUJYUEN'S ALBUM



新年あけましておめでとう  
ございます。

皆様方におかれましては、  
希望に満ちた新年をお迎え  
のこととお慶び申し上げます。  
日頃より豊寿園に対し、  
多くの方々温かいご支援と  
ご協力を賜り、心より御礼  
と感謝を申し上げます。

当園は皆様方のお力添え  
をいただきまして、無事に開  
園22年目の新年を迎えるこ  
とができました。

今年介護保険の改定を  
控え、私達、社会福祉施設  
ではますますそのサービスの  
充実が求められております。  
介護の人材不足が叫ばれる  
中、豊寿園におきましては、  
安定した人材の確保はもち  
ろんのこと、職員一人ひとりが  
長くやりがいを持って働き  
続ける職場環境づくりにも  
取り組む事で、これまで以上に、  
利用者様へ質の高いサービス  
提供が果たせるように努め  
てまいります。

また、地域やボランティア  
の皆様とのつながりを更に深  
め、愛される施設作りにも  
取り組んでまいりますので、本  
年も変わらぬご支援とご協  
力の程よろしくお願い申し  
上げます。

本年が皆様方にとりまし  
て輝かしい一年となります  
ことを心よりお祈り申し上  
げます。

園長 森 広樹

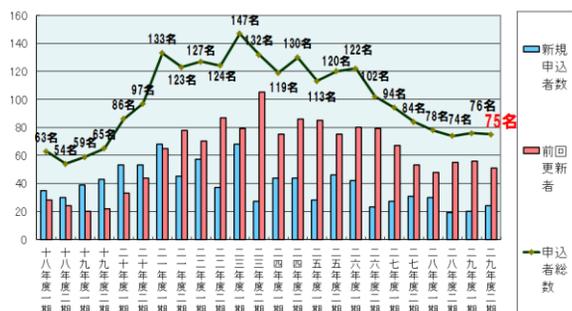




# トピックス

## 12月からの入所待機者が決定しました！

11月22日、外部の第三者委員を交え入所検討会議を開催し、12月から豊寿園の入所待機していただく方々が決定しました。今回の入所待機者は75名でした。待機の進捗はホームページにて随時、お知らせしています。



## デイサービスで消防訓練を実施しました！

10月19日、デイサービス内で出火したことを想定した消防訓練を実施しました。

空気が乾燥するに従って、火災が発生しやすいこの時期。豊寿園では、万々に備えた対策を講じていきます。



## 家族会の臨時総会および勉強会が開催されました！

11月11日、豊寿園家族会の臨時総会が開催されました。全会員を対象としたアンケートの結果、役員を引き受けてくださる方がおらず、会を維持していくことが困難になったことから、今年度一杯での会の廃止が決定しました。次年度からは、意見交換会という形で、ご家族との意見交換の機会は継続していくことをお約束しています。臨時総会の後には、勉強会として、園内での看取り介護の事例紹介を行いました。



## NHK海外たすけあいにご協力ありがとうございました！

11月よりご案内しておりました「NHK海外たすけあい」にたくさんのご寄付をいただきまして、ありがとうございました。皆様からお寄せいただいた浄財は、紛争や自然災害、飢餓、病気などで命の危機に直面している世界の方々へ、様々な形でお届けします。



## 職場内のハラスメントについて全体研修を行いました！

10月18日、介護労働安定センター福岡支部を通じて高橋克忠先生をお招きし、様々な職場内でのハラスメントについて学びました。

豊寿園では、職員が働きやすい職場作りにも取り組んでいます。



**10月12日**  
**市立松ヶ江中学校の福祉体験の受け入れを行いました！**

北九州市立松ヶ江中学校の1年生6名の福祉体験を受け入れました。老人ホームでの生活や、認知症について学んでいただいたり、利用者様との交流を体験し、介護についての理解を深めていただきました。



**10月25日**  
**赤十字ボランティアオリエンテーションを開催しました！**

毎年恒例の赤十字ボランティアオリエンテーションを園内で開催しました。ボランティア活動や認知症介護に興味をお持ちの方々にご参加いただき、認知症サポーター養成講座のカリキュラムや、北九州赤十字看護奉仕団じゅんの会の国島会長より、ボランティア活動の実際についてご紹介いただきました。



**11月4日**  
**施設見学ツアーの受け入れを行いました！**

このツアーは、北九州高齢者福祉事業協会 次世代委員会 門司ブロックの地域貢献事業の一環としての企画されたもので、当日は8名の方々にお越しいただきました。



**10月28日**  
**北九州市区職員ボランティアの会の皆さんに清掃活動を行いました！**

門司区役所の職員で組織されているボランティアの会の方々にお越しいただき、園内の清掃活動を行いました。当日は、その他にも門司区福祉ボランティア一期会や豊国学園高等学校サッカー部の皆さんにもご協力いただきました。



**11月21日**  
**港が丘小学校へ車椅子の出前講習に行きました！**

門司区ボランティア・市民活動センターからご依頼いただき、北九州市立港が丘小学校4年生を対象とした福祉体験授業に行きました。当日は、42名の生徒さんに森生活相談係長、舞田生活相談員が車椅子の操作方法を講習しました。



## 地域ぶらり情報



## 隠れたパン屋さん

豊寿園より県道25号線を門司港に向かい、都市高速春日インター入口少し手前を左に入ると、右側に小さなお店があります。10年前に両親より場所を引き継ぎ、夫婦で『ダイキベーカリー』を始めました。お店には、ちょっと休めるコーナーがあり、ご近所の憩いの場所にもなっています。道路から少し中に入っておりお店がわかりにくい事から、現在はお店以外にも八幡西区や水巻町などに移動販売も行っています。毎週火曜日のお昼に豊寿園にも販売にきていただいています。メニューは、門司で有名な『キングパン』など、馴染みのある昔ながらのパンをメインに提供しています。そのなかでも特に食パンやラスクが好評です。食パンは、二日間かけて発酵させており粉の風味を味わえます。余分な添加物を加えていないにもかかわらず、他の食パンより長持ちします。ラスクは、菓子パンを使用しているので、サクサクしているいろいろな味が楽しめます。気になった方は是非、『ダイキベーカリー』に行ってみて美味しいパンを食べてみてはいかがでしょうか。

### Daiki Bakery ダイキベーカリー

北九州市門司区春日町24-10  
TEL 093-341-0127  
定休日 日曜日  
OPEN 8:00~18:00



## お知らせ

4月に介護保険の改定が予定されています。改定にともない、利用料に変更が生じる見通しです。詳細が決定次第、利用者の皆さまへは改めてお知らせいたします。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

## あとながき

子育てに関わるようになり、我が家のテレビには教育番組がよく流れるようになりました。番組の中では、歌や踊りなど、子供達が楽しく、わくわくするような内容ばかりで、自分の心まで洗われるような気にさせられます。ふと、これまで自分の仕事内容を子供に話したことがなかったことに気がつきました。アイドルやモデルに憧れる娘に、介護や福祉という仕事のわくわくや楽しさ、そのやりがいなどをきちんと伝える事ができるか、なんとなく自信が未だ持てません。この仕事に携わる皆がこのことを上手く話せるようになったとき、この仕事に憧れる若者が増えてくれるような気がします。

どうすれば伝わるかを日々考えながら、また一年、豊寿園、赤十字の活動を皆様にお届けしていきたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

平成29年度広報委員 森 英樹



今回表紙を飾ってくれたのは、豊寿園の事務課長 長田英之さんです。今年の3月で定年を迎えられます。退職記念の写真を撮影するべく、普段とは違う衣装に着替え、ダンディーな表情を見せてもらいました。

# 介護一口メモ

今回のテーマは「食卓」についてです。現在、豊寿園で提供させていただいている食事の種類をご紹介します。

—利用者様の嚙む力、飲み込む力にあわせて加工した食事をご用意しています—



**普通食**  
 やわらかく調理しています。各食材にあった新しい技術を導入し、素材本来の風味を大切に仕上げ上がっています。



**ソフト食**  
 歯茎や舌でつぶすことのできるやわらかさです。魚はほぐし、野菜は粒状にして食材の食感を楽しめるようにしています。まとまりがあるので、こぼしたり、むせることなくお召し上がりいただけます。



**ミキサー食**  
 素材本来の味と香りを感じられるよう、特殊な機器で調理しています。水や出汁で薄めることなくペースト状にしているので、少ない量でも十分な栄養を摂ることができます。



**ゼリー食**  
 ミキサー食をゼリー状にしているので、必要な栄養価はそのままにつるんとした食感でむせることなく、安心してお召し上がりいただけます。

資料引用：株式会社ナリコマエータープライズ



写真上 折り紙を教えられている様子  
 写真下 相見恵美子様

Japanese Red Cross Society



## 特別号 We are volunteer

赤十字活動を支えるボランティアさんを紹介するコーナーです。

今回は、月1回行っている折り紙クラブの様子をご紹介します。この折り紙クラブは、相見恵美子様にて平成25年から月1回のペースで活動していただいています。

相見様は、2009年に北九州市立年長者研修大学校周望学舎にて学ばれたお仲間と折り紙のボランティアを始められ、豊寿園では実のお母様がショートステイをご利用していただいていたご縁にて活動を始めていただきました。

現在は毎月9カ所もの施設等に訪問されボランティア活動をされているそうです。

毎月その時期に合ったテーマの折り紙飾りを考えられ、豊寿園の利用者様が無理なく折り紙ができるよう準備をしてくださっています。

この「折る」という作業には、利用者様にとって楽しいだけでなく、考えながら折る、楽しみながら折る、出来上がりを想像しながら折るという作業ひとつひとつが脳にも素晴らしい効果を与えているとされています。

参加される利用者様は、毎回素敵な作品ができると、「これキレイやね！お部屋に飾ろう」「手先を動かせるからいいですね」と大変喜ばれています。

## あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回、奥水介護課長のインタビューを受けてくださったのは、牟田様のご家族です。ご自宅での介護を経て、現在はお母様が豊寿園にご入所されています。長男様、長女様、次女様の3兄弟で協力してこられた体験談をお聞きました。(※文中では敬称は省略させて頂いています)

「ある日突然、「お店を引退します！」と宣言したんです。」



今回インタビューに応じてくださった牟田様のご家族  
(写真右から長男様、長女様、次女様)

長女 母は私たちを育てながら、内職で和服の仕立てをしたり、33歳で食堂を始めたりとパワフルで働き者でした。いろいろな人の相談に乗ったり、ユーモアのある人でした。  
長男 平成18年、母が77歳の頃。母はお店の食材を買い出しに行くのに、車で出かけていたのですが、この頃からよく車を壁にぶつけるようになっていました。同時期に、店を出す料理の味付けを私に確認させるようになっていました。  
次女 母は父と二人で暮らしていたのですが、その頃、洗濯機の使い方がわからないと何度も電話をしてきました。

父がまだ元気だったので、父に洗濯機の使い方を覚えてもらって、母に教えてもらうようにしていました。

長男 その年の3月に母が突然、「お店を引退します」と宣言をしたんです。冗談かと思ったら、4月1日から本当に店に来なくなりました。母は家で過ごしていましたが、ある日から「お金を盗られた。証書がない」と言っては警察に電話するようになりました。実名を挙げて話すので、近所の方々には本当に迷惑をかけました。

次女 「泥棒が家に入つてこないように」と、自分で工務店に電話して家の前に門を作ってもらっていました(笑)。

「有料老人ホームに入ってもらったのですが、一ヶ月で自宅に戻りました。」

長男 そんなある日、長女が実家に行くと母が畳みの上を這っていました。急に歩けなくなっていたんです。丁度、当時のケアマネジャーさんが来てくれたので相談し救急車を呼んで病院へ運びました。検査してもらったら脑梗塞と診断され入院になりました。幸い、大事には至らなかつたものの、家族で退院して自宅に戻るのには難しい、と話し合い有料老人ホームに入ってもらいました。ただ、入居後も「泥棒が来る」という訴えは続き、それが原因で周囲の人と折り合いが悪くなったので、結局、

1ヶ月で自宅に戻りました。特定の人を名指しし、「盗られた」と言っていたようです。

自宅に戻っても「物を盗られた」と言い出しては、自分で警察に連絡するということが続きました。私に警察から連絡が入るので、仕事の途中でも家に帰らなければならぬ、ということが何度もありました。母に電話しても「通帳がなくなつた！」というので、こちらも「そんなはずはない」と、つい言うてしまうと、「私は嘘はついたらん。もういい！」と怒るんです。仕方がなく、家に向かうと見たことのある人が前から歩いて来ます。母です。結局、二人で郵便局へ行き、局長さんへ正直に「母はアルツハイマーの初期なんです。」と伝えました。その時の局長さんが、母の訴えに寄り添って対応してくれたので本当に助かりました。

次女 その頃は、「お金を盗られる」と言つて、冷凍庫に隠していたこともありました。(笑)





「ヘルパーさんからは「戦いです！」と言われ、てい、ました。」

長男 平成22年頃、元々膝や腰が悪かったのに、ベッドから落ちて膝を打ったりして、傷めたことで歩くのが難しくなっていました。この頃から介護保険を利用するようになり、ヘルパーさんをお願いしてもらい、両親の昼と夕の食事を作ってもらっていました。次女 単位が足りないという事で、1泊2日で木曜に私が毎週泊まり込みました。

長男 6時過ぎには両親の朝ご飯を準備、片づけてから店に出るという事を4年間続けました。父も年相応の認知症があったようで、1人でお弁当を食べようと、何度もレンジにお弁当をかけてはお弁当を変形させて、食事が十分とれていないことがありました。母が脳梗塞を再発して入院した時は、毎日、病院に行きましたが、汚れ物を出さず困りました。きつと、トイレを失敗したことを認めたくないとか、息子に洗濯させたくないとかいう気持ちだっただけでしょう。本当に負けず嫌いな母で、リハビリも本当によく頑張っていました。

次女 退院後はヘルパー、リハビリ、入浴のサービスをお願いしました。母が入浴を拒否することも多く、ヘルパーさんが「戦いです！」と言われていました。――病院では寿命、と言われ、食べるようになるのでは、という期待を持って園に戻る事を決めました。――

長男 平成24年に父が心臓発作で入院したのがきっかけで豊寿園のショートステイを利用しはじめましたが、しばらくして父は亡くなりました。平成25年に豊寿園に入所が決まりました。入所後は特に問題もなく過ごしてくれていましたが、平成27年12月に足のむくみがひどくなり入院することになりました。



お店を切り盛りされている頃、亡きご主人と一緒に写ったお写真。今でもお店の事を懐かしそうにお話して下さいます。

した。ところが入院後の検査で結核と診断され、結核の薬を飲むようになりましたが、みるみる食欲が低下していきました。担当の先生からは「寿命です。」と言われました。痩せていく母をみて、豊寿園に戻ればまた食べられるようになるのでは、という期待を持って、そして最悪の場合は看取りということも考え退院して園に戻ることを決めました。けれども、すでに体力もなくなつぱり食べられない母を見て、もう一度、入院して加療してもらうことにしました。長女 その後に違う病院へと移ったのですが、お薬を調整してもらったら、3日目には車いすに座って食事を食べていました！あのまま、「寿命」と言われ諦めていたら、生きていける命を無くすところでした。母を見ていると、病気とはいえ、年をとると色々な事が起きるということをお話してくれていると思っっています。自分たち自身も、将来に備えて準備は必要だと感じています。

## 忘年会



12月 忘年会で利用者様にお餅をついていただき、女性の利用者様に鏡餅に丸めていただきました。その後に、職員有志による銭太鼓をご覧いただきました。

## 芋ほり



10月 裏の畑をお借りして芋ほりに。秋晴れの中で収穫をお楽しみいただきました。

## 買い物



11月 園内での買い物。ご自分で選んで買ったお菓子や飲物をお楽しみいただきました。

## 音楽鑑賞会



11月 重森さんと高木さんによるサクソ、フルート、ピアノの演奏をお楽しみいただきました。



クリスマス・忘年会

12月 クリスマスツリーをきれいに飾り付け、職員と一緒に歌って踊って楽しめました。



バスハイク



9月 カモンワーク(下関)にお弁当を持ってバスハイクに行きました。

中学生交流



10月 松ヶ江中学校の生徒さんとの交流を行い、最後の握手をとっても喜ばれていました。

厨房イベント



11月 厨房の職員と一緒にちらし寿司を作って食べました。

2018  
Vol. 37

JAPANESE RED CROSS  
SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER  
THE SPECIAL NURSING HOME  
HOUJYUEN



Winter 2018  
Vol.37

SPECIAL SECTION  
TOPICS  
MORE CROSS  
AREA INFORMATION  
CARE MEMO  
WE ARE VOLUNTEER  
HOUJYUEN X FAMILY  
HOUJYUEN'S ALBUM

# FRUITFUL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOUJYUEN